



# 環境レポート2012(概要)

---

## はじめに

---

2011年度は、東京都の環境確保条例（都民の健康と安全を確保する環境に関する条例）にて、大規模事業所に対するCO<sub>2</sub>排出総量の削減が義務化されてから2年目となる年であり、当社は準トップレベル事業所として、2010～2014年度の第一計画期間に基準排出量24,218トン（2002～2004年度平均）の6%削減が義務付けられております。

しかしながら、東日本大震災後の夏場の電力不足に備え、昨夏比15%の節電を義務付ける電力使用制限令が発動されたことで、電力・ガス使用のベストミックス運転のバランスが大きく崩れ、また、節電意識の浸透により冷暖房の使用が大幅に抑制され、CO<sub>2</sub>排出量は削減されたものの、熱供給業にとっては、厳しい1年間となりました。

一方、オフィス活動においては、引き続き、事務所の節電、PPC用紙の削減、ゴミの分別収集の励行で一定の成果を達成するなど、全社的な環境への取り組み成果を上げることができました。

# 2011年度（平成23年度）の取り組み状況

## 1. 熱供給事業環境部会

電力使用制限令の発動により使用制限義務が課せられたため、これを達成することが優先されました。いきおいガス使用量が増えCO<sub>2</sub>も増えることとなりますが、電力使用制限とCO<sub>2</sub>の抑制を両立していくために運転計画を綿密に立てて対応してまいりました。これにより、電力使用制限令15%の抑制目標に対し22%の節電を達成しました。しかしながら、ガス使用へのシフトと、節電意識の浸透による大幅な冷暖房使用抑制による低負荷運転の増加によりプラント総合効率・CO<sub>2</sub>排出量原単位は悪化してしまいました。

### A. 投入エネルギー量

#### ●電力とガス

投入エネルギー (GJ)	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
	400,686	378,060	386,593	346,476
	100%	94.4%	96.5%	86.5%

#### ●上 水

水資源投入量 (m <sup>3</sup> )	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
	175,514	165,386	171,153	144,280
	100%	94.2%	97.5%	82.2%

#### ●（参考）熱製造量の推移

熱製造量 (GJ)	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
	416,768	392,703	407,156	347,894
	100%	94.2%	97.7%	83.5%

### B. 温室効果ガスの排出とボイラー排水

#### ●二酸化炭素の排出量

CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	基準排出量	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
	24,218	18,207	17,288	17,437	15,807
	100%	75.2%	71.4%	72.0%	65.3%

二酸化炭素以外に温室効果ガスとして、ハイドロフルオロカーボン（23,571 kg）と六フッ化硫黄（952 kg）を冷媒・絶縁材として扱っていますが、機器内部に適切に封入管理されております。

#### ●（参考）二酸化炭素排出量原単位の推移

CO <sub>2</sub> 排出量原単位 (kg - CO <sub>2</sub> /GJ)	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
	43.7	44.0	43.3	46.0
	100%	100.7%	99.1%	105.3%

●下水道への排水量

排水量 (m <sup>3</sup> )	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
	20,979	20,764	17,713	16,610
	100%	99.0%	84.4%	79.2%

●(参考) ボイラー排水水質基準と排水水質実績

区分	PH	排水温度
東京都下水道条例(基準値)	(5を超え9未満)	(45℃未満)
2011年度実績値	6.5~7.1	34~36℃

C. その他の環境負荷物質

●PRT法における第一種指定化学物質

ヒドラジンを使用していますが、排出はされません。(ヒドラジンは水と窒素に分解)

化学物質名	使用月	使用量(kg)	使用目的
ヒドラジン	8月/2月 (合計)	242 / 360 (602)	冷凍機冷却水系のスライム剥離 およびチューブの改質処理

●ボイラーのばい煙

施設名	測定月	排ガス温度(℃)	窒素酸化物(ppm)	ばいじん濃度(g/m <sup>3</sup> N)
		基準: 170以下	基準: 30.5以下	基準: 0.05以下
BW-1	8月/2月	90 / 98	22 / 24	測定せず※
BW-2	8月/2月	90 / 88	20 / 22	測定せず※
BW-3	8月/2月	88 / 95	19 / 21	測定せず※

※大気汚染防止法施行規則第15条ばい煙排出者の測定義務について、ガス専焼ボイラーのばいじん濃度測定頻度は1回/5年となっているので2011年は実施しておりません。



## 2. オフィス活動環境部会

### ■事務所の節電

- ・不使用時のコンセント抜きの徹底
- ・昼休み時間帯の消灯
- ・不要箇所の消灯
- ・蛍光灯の間引き点灯
- ・パソコンの休止モードの徹底
- ・省エネ機器への更新

等を実施しており、電力使用量は 19,761 kWh と、目標の 22,458 kWh に対して 12% の削減となりました。

### ■PPC用紙の削減

- ・裏紙利用の促進
- ・電子媒体へのシフト
- ・複写機の機能活用

等を進めましたが、PPC用紙の使用量は 87,500 枚の使用と、目標の 80,000 枚に対して 9% の超過となりました。

### ■グリーン購入

グリーン購入作業基準に従いグリーン商品への切り替えの促進を図りました。2008 年度導入の 55 品目、2009 年度導入の 40 品目、そして 2010 年度導入の 31 品目に加え、2011 年度は 14 品目を新たに導入いたしました。

### ■ゴミの分別収集・廃棄

ゴミの収集については、サンシャインシティ・オフィス棟のゴミ処理フローに合わせ、7 種類(可燃物・不燃物・ビン缶・ペットボトル・生ゴミ茶殻・PPC用紙・その他)に分類して廃棄いたしました。また、事務所移転以降はワールドインポートマート棟のゴミ処理フローに合わせ、7 種類(可燃物・不燃物・ビン缶・ペットボトル・生ゴミ茶殻・リサイクルペーパー・再生品)に分類して廃棄いたしました。

## A. 事務所の電力使用量

電力使用量 (kWh)	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度
	27,073	24,328	22,685	19,761
	100%	89.9%	83.8%	73.0%

## B. PPC用紙の使用量

PPC用紙 使用量(枚)	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度
	125,000	61,500	94,000	87,500
	100%	49.2%	75.2%	70.0%

